



父母の会の事業に 積極的な参加を！

会長 浅野高宏



あけましておめでと
うございます。
日頃、「父母の会」の
事業にご理解とご協力を
賜り、厚く御礼申し
上げます。

新潟産業大学は、新潟県の私立大学の中では最も古い歴史を持つ大学であり、豊かな自然と美しい景観に恵まれた柏崎市に位置する、学生が学ぶための恵まれた環境を持っている大学です。また教職員の皆様の熱心な教育、ご指導によって「息子・娘を成長させる大学2010年版 就職に強い大学」(読売新聞社発行)において、学部別就職に強い大学第2位(経済学部)となっております。

「父母の会」は、このような大学の教育活動を援助し、学生及び教職員の教育ならびに福利の増進を図り、大学と家庭との連絡協調を緊密にするとともに、相互の理解と協力により、大学の発展に寄与することを目的としています。主な事業としては、①全体総会、②各支部総会、③学園祭である紅葉祭に併せて行う文化講演会、④奨学貸付事業、⑤部活動への援助、などがあります。

総会には、毎年多くの会員の出席をいただいています。少子化などの影響による入学生数の減少で会員の総数も減少しています。しかしその中で、学生による武道、楽器演奏、歌唱など

の発表には、本当に感心させられ会員の皆様にも大変好評です。また就職活動体験談は、不況の中で頑張っている学生の努力、悩みなどを聞くことができ、社会人の先輩である私達保護者にも参考になり、考えさせられたりもします。できるだけ多くの会員の皆様にぜひ聞いていただけたらと思います。

また紅葉祭には文化講演会も行い、多数の市民の参加を頂いています。

各支部総会では、講演会や、大学の教職員の皆様からの大学の現況報告、個別面談、学生からの就職活動発表など、総会に出席できなかった皆様にも参加していただけるよう趣向を凝らして開催しています。

昨年は日本で歴史的政権交代が起きた年で、民主党政権において事業の見直しが行われ、新政権が様々な分野にどのように力を入れていくのか私たちも注視しなければならぬと思えます。このデフレスパイラルの中、私立大学に通わせている保護者の皆さん、就職に苦労している学生、また大学にどのように援助してもらっているのかは、非常に大きな問題です。

新潟産業大学は昨年、学科改編を行い地域に役立つ人材、国際経済人を育成しようとしています。また社会人教育にも力を入れています。私たちも大学に顔を出して、新たな発見をするのもいいのではないかと思います。そして父母の会の事業にも積極的に参加してくださいませようお願いします。

最後に、新潟産業大学と父母の会の益々の発展のために、皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

発行所
新潟産業大学
父母の会事務局
〒945-1393
新潟県柏崎市軽井川4730
☎(0257) 24-6402
FAX 22-8241

第十六回総会



今年、昨年のアンケートの結果要望が多かったことから初の土曜日開催となり、平成21年6月13日(土)正午から第16回父母の会総会が開催されました。

総会ではまず浅野会長が、経済状況悪化の中で、大学への援助と家庭との連絡協調に向けた協力を訴えました。

続いて広川学長が挨拶に立ち、まず、大学を3学部から1学部に変更し、中身の濃い教育と地方の特色を出すことを目指した結果、本年は11年ぶりの定員充足を果たし、大学が元気になったことを報告されました。そして、コンパクトユニバシティとして学生一人一人に目の届く教育を実践するとともに、地域を支える人材育成に向け、地域と連携し、実習で力をつけさせ、就職に強い大学としての地位を更に高めたいとの抱負を語られました。そして、県内で一番若い学長として機動力を生かしたいので、大学に対する意見や要望を積極的にお寄せいただきたいと締めくくられました。

その後、平成21年度役員が紹介され、平成20年度事業報告・会計報告、平成21年度事業計画案・予算案が説明され承認を受けた後、大学の現況報告に移りました。

まず、教務委員長が、①新型インフルエンザの影響により国内外研修が中止されたこと。②公欠の制度ができ、該当者は教員の指導や追試験を受けることができること。③休学期間は在籍料半期2万円のみで、その他学費の納入は必要ないこと。④就職未内定者等に対し1年間の卒業延期制度が

できたこと。以上4点について説明されました。続いて、学生委員長がクラブ・サークル活動の実績を紹介し、スポーツ推薦入試対象者の紹介を依頼されました。また、不況の影響で経済的に困窮する学生が増えていることから、奨学金や貸付制度について紹介された他、精神的に弱い学生が増えていることから、悩みの実態や相談態勢を説明し、早目の相談について呼びかけられました。

最後に、就職委員長が、本学の就職状況を次のように説明されました。

就職企業は各業種に満遍なく就職しているが、流通小売業が多く上場企業は2割である。内定取消しはなく、経済学部就職率は96.5%と県内・全国平均をとるとも上回った。しかし、売り手市場から買い手市場に変わり、内定を取れる学生と取れない学生に2極化しており、地元志向が強いことが間口を狭めている。他人任せで自分から動かない学生も散見される。

また、安定志向が強く、公務員や金融志望者が多い。年間を通じて公務員講座を開講しているほか、様々な就職指導プログラムを実施しているのが、有効活用してほしい。県内唯一の就職合宿研修では、より実践的な個人面談や集団討論で鍛えている。更に、求人票を携帯からも見られるよう改善するなど、全力を挙げて取り組んでいることを強調されました。

この後、就職内定者2名による就職活動体験談が発表された後、公開講演会が開催され多くの市民が詰め掛けた。

また、当日は地元蔵元4社による日本酒試飲販売会も行われ、文化経済学科の学生が手伝っていました。

最後の懇親会では、多くの先生方の参加もあって話が弾み、例年より30分長い懇親会も瞬く間に経過し、当日の日程を予定通り終了しました。



預金一覽

(平成21年3月31日現在・単位:円)

Table with columns: 種別, 金額, 満期日, 備考. Includes categories like 定期預金, 奨学金積立, 決済用普通預金.

父母の会会計

収入の部

(単位:円)

Table with columns: 科目, 20年度予算額, 20年度決算額, 比較増減, 摘要, 21年度予算額. Includes items like 会費, 雑収入, 計.

支出の部

(単位:円)

Table with columns: 科目, 20年度予算額, 20年度決算額, 比較増減, 摘要, 21年度予算額. Includes items like 事務費, 役員会開催費, 支部活動補助費, 計.

最後に、私は就職活動を通じて、自己アピールの難しさを痛感しました。そして自分自身を省み、友人や家族に自分の印象を聞くことによつて、自分がどれだけ周りの方々の協力によつて生きているのかわかりました。両親を始めたくさんの方々に協力していただいた結果、内定を得ることができたので

就職活動に必要要素も自然に身に付けれまき、意外と就職活動は面白かったと感じています。来春からはいよいよ社会人になるわけですが、今は不安よりも楽しみで一杯です。たとえ辛くなつても、今回の就職活動のことを思い出しながら取り組み、最後は良い結果になると信じて頑張ろうと思

三つ目は「情報の入手方法について」就職課で希望の職種企業や卒業生の資料を見たり、インターネットを使つた後企業に足を運び、質問したり自分の目で確認しました。四つ目は「試験内容とその対策について」私が受けた企業の一次試験は履歴書とエントリーシートの書類選考でした。この内容は面接でも使われる非常に重要な資料となりました。二次試験は個人面談、三次試験は社会問題についてのグループディスカッション、四次試験は役員面接でした。

就職活動に疲れた時、悩んだ時、両親 家族の支えがあつて乗り切れた部分があります。一番嬉しかったのは、話を聞いてくれたことです。愚痴をこぼしても、嫌な顔を見せずに聞いてくれて、励ましの言葉をかけてくれました。両親からは、「自分の好きな仕事に就けるならそれで良い」と言つてもらえたので、制限なく活動でき本当に感謝しています。

就職活動体験談. 須佐賢治さん (経済学部 ㈱アークベル内定). 後輩に就職活動に対する質問や不安を聞いてみた結果、六つの質問が上がりました。まず「どうやって職種を選んだか」私は以前からウエディングプランナーという夢があり、人生の一大イベントをお手伝いすることができ、長い人生に十分に力を注ぎ続けることのできる誇りある職業だと思ひ決定しました。

就職活動体験談. 岩方明美さん (経済学部 ㈱ウオロク内定). 私が就職活動を開始したのは12月上旬の合同企業説明会からでした。そこで真剣な就活生の姿に驚き、自分の自覚が全く足りないことを思い知らされました。活動開始が遅かったため受験さえできなかった企業があり後悔しましたが、その後はそれまでの遅れを取り返すために、多くの企業にエントリーするとともに、二ユースで志望業界に関連する記事に目を通しました。

父母の声

(抜粋)

●大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。多くの熱心な心優しい先生方に導いていただいているようで、うれしく思います。(産業システム4年)

●就職活動体験談は参考になりました。今日のような体験談を、三年生以下の学生にぜひ紹介する機会を増やしていただきたい。(昨今の就活実態が、早い時期からスタートし結論が出るのも予想以上に早まっていることに一驚しました。)(経済3年)

●就職指導プログラムが充実していると思います。学生の就職活動の発表は感動しました。学生の前の発表会なども良い企画になると思います。(経済2年)

●各学生に対し、こじんまりした大学でも、卒業後学生が4年間すばらしかったと思えるような大学になって欲しいと思います。偏差値ではなく、入学して良かったと思える大学を。(経済2年)

◆総会講演会◆

天地人と柏刈の武将たち

父母の会総会第2部は、大好評だった昨年に引き続き本学客員教授・居多神社宮司の花ヶ前盛明先生による公開講演会となり、多くの市民が詰め掛けました。

まず、ロケ隊の安全祈願時での第一印象では、妻夫木さんは少し背が低く、常盤さんは落ち着きがあり物覚えの速い人だったとのこと。祈願後すぐに海岸でのロケに入ると言ったので、居多神社近くの浜を進めたが、テトラポットがあったため撮影ができなかった逸話を披露。

講演の前半は、プロデューサーの脚色により生じたドラマと史実の相違を紹介。「天と地と

●公務員講座を毎年受けて、高い確立で公務員の希望を持てるように、毎年ステップアップ的に勉強させてほしい。(経済1年)

●昨年に引き続き講演を楽しみに来ましたが1時間くらいが適当かな。卒業生の話がいつも一番良く、我が家もいつかはその日のために参考にしたいと思います。

●大学に入学し、子供が元気に喜んで行っている事を喜んでおります。遠方から来られる方々のために、土曜日開催と時間帯は配慮されていると思いますが、12時開始は中途半端なのでご検討いただきたい。

●(※個別面談や懇親会の時間を考慮し、12時開催となっております。)

●高速バスで新潟市内より通っているのですが、5限を取るとバスがありません。何かいい方法はないでしょうか。

●(※実際にJRとバスを使い分けている学生がいます。自動車通学者に柏崎インター停留所まで送ってもらう裏技もありますが、バスでの接続は現在不可能です。バス会社にダイヤ改正時に要望したいと思います。)

の毘沙門堂に做い窟を作ったために、春日山の頂上で観光客があり、もしない窟探しをしていること。会ったことのない兼続と信長を会わせたこと。信長が自害した時に、謙信が亡霊として現れたこと。政治・財政手腕に優れ、文人としても才能に優れた人物であったが、それではつまらないと泣き虫と六を未だ引きずっていることなどを上げ、ドラマの全てを真実だと思わないで欲しいと訴えました。

後半は、菊姫の生涯や御館の乱と居多神社の関係について説明した後、柏崎刈羽の武将たちの素性や性格、史実などを説明されました。

講演後は質問が相次ぎ、大河ドラマの人気の高さを実感する講演会でした。



◆文化講演会◆

米山の空から世界を眺める

●本年の文化講演会はテレビ等でお馴染みのジャーナリスト 齋藤隆史氏を講師に迎えて開催されました。

講演前に学園祭を積極的に見学された齋藤氏は、まず、座大の理念や蓮池講師の小説が、既に郷土の再認識と世界への発信であると称えられました。

●続いて、父上が柏崎生まれであることから、地名の語源「傾いた地形の端」や、柏の木が古くから神木とされ、奇しくも前日行われたサッカー日本代表対戦国の英国でも古代から同様に扱われていることを紹介されました。(齋藤氏は浦和高・早大サッカー部OBで、川淵氏とも一緒にプレーし、全国大会優勝も経験。)

●また、米山登山の際、カモシカに遭遇した例を出し、生活と信仰についてや、里山の重

父母の会に参加し明るい未来を!

幹事長 横村真司

●あけましておめでとうございます。アメリカのリーマンショック後の経済不況による就職難や、保護者の減収・失業、学生数の減少等、大学側にとっても私たち親や学生にとっても大変な時代に突入しております。

●当会について、「大學生になってまで小中高のPTAと同様な保護者会なんて」と異論を唱える方もおられるかもしれませんが、今の事情からして一層の大学との連携により、様々な提案をし工夫を凝らし、大学の発展に寄与することが大事かと思えます。

●当会の活動は、学生への経済的支援に加え、6月の大学での総会、10月前後の支部総会がメインです。総会、支部総会では個人面談があり、担当の先生方による学業、就職

●要性が世界的なテーマであることを説明されました。そして、柏崎の豊かな自然と人間の調和こそ、良寛の生き方そのものであるとされました。

●この後、達筆な自作の書で良寛らの歌をあげ、万物流転や天文学、相対性理論などで日本と世界の古人が同様な解釈をした発言を示し、日蓮や釈迦、マルコポーロ、コロンブス、アインシュタイン、オバマまで、意外な関連性を説かれました。

●更に、何故かと思の世界を広げ、頭の中に導き、疑問を考える。これこそが世界を眺める本質であるとの見解を示しました。

●最後に「關」という字は、神出現の瞬間の木や草のそよ音と輝きを示すものであることを力説し、講演を終了されました。

●講演後は質問に答え、三階節や憧れのハワイ航路で美声を披露。元気で温かいお人柄が感じられる講演会でした。



●学生生活の相談ができ、いろいろアドバイスがいただけました。感心するのは、先生方がきめ細やかな指導を実施し、熱意が感じられることです。都市部の大学と違って、当大学の特色かと思えます。また、10月の紅葉祭を行う文化講演会などがあります。今年度は3回の公開講演会を実施し、当大学のPRにも一役買っております。

●3年間父母の会の役員をさせていただいた率直な感想としては、総会などに大勢の方に出席していただき、意見を交わし、学生たちの明るい未来を開くことができ、長い間ありがとうございました。



活躍してます産大生!!

ライフセービング部



日本中が日食に湧いた7月22日。新潟放送夕方のテレビ番組で、本学ライフセービング部の活動が15分以上に涉り紹介されました。

当日はあいにくの天候でしたが、ライフセービング活動の説明に加え、模擬救助やビーチフラッグスを行い、監視活動にける情熱を熱く語りました。

本学ライフセービング部は、かつて世界大会出場者も輩出した名門クラブで、近年も全国大会で活躍しており、当日は現在も活動を続ける卒業生も大勢出演しました。

空手道部

経済学部 4年 阿部 祥朗

私達空手道部は、9月に行われた北信越大会で優勝し、11月23日に大阪市立体育館で行われた第53回全日本学生空手道選手権大会に出場しました。たくさんの方々が激励して下さい、広川学長は会場まで応援に駆けつけて下さいました。全力を尽



くしましたが、結果は惜しくも一回戦の福岡大学に敗退してしまいました。試合では負けましたが、4年間の最後の試合は良い試合になったと思います。

私は北信越大会優勝の一つの目標とし、4年間練習に取り組んできました。試合ではなかなか思うような結果を出すことができず、何度か悔しい思いをしました。また、人数が多い部活ではないので、練習にも苦勞をしました。しかし私は4年間の中でたくさんの人に支えてもらい、この困難を乗り越えることができました。

練習を見て下さった先生方や、忙しい合間に時間を作り、練習や試合に引率して下さいった先輩方。共に汗を流した後輩。一年の時からいつも声をかけて下さった広川学長や職員の方々。たくさんの人に感謝しています。また、4年間様々な面で支えてくれた両親には本当に感謝しています。試合をする中でここに立っていられるのは自分だけの力ではないと実感しました。私自身も今後、後輩たちの力になればと思っています。

私は、空手道を通じてたくさんのことを学ぶことができたと思います。一つのことには4年間打ち込み、たくさんの人に出会えたこの4年間という時間は、私にとつて掛け替えのない財産になりました。この経験を糧に、今後も精進して行きたいと思っています。

アーチェリー部

経済学部 2年 宇佐美 祐生

アーチェリーは30〜90mの距離から1.6mの的に矢を射り、72〜144射の総得点を競う競技です。



私がアーチェリーを始めたのは高校入学後

で、在学中に選抜大会やインターハイに出場することができました。大学入学後は同好会を立ち上げましたが、練習場がないため大附属高校のアーチェリー部の練習場を使わせてもらっていました。しかし、廃部したため今では帰宅後母校で週4日練習しています。それ以外の日は、大学内にあるトレーニングマシンで少し筋力トレーニングをするのですが、なんとかインカレ出場を決めることができました。

インカレは9月に東京で行われました。慣れない都会の朝の通勤ラッシュの中、大きな道具を持って会場まで行くのは試合以上に疲れる気がしました。今大会は全体のレベルが高かったらしく、参加選手が口を揃えて「異常だ」と言うほどでした。実際にトーナメント進出のボーダー点数は去年より30点も上だったようです。私は自己新記録を出せたのでギリギリ通過できるはずでしたが、計算間違いがあったらしく点数が上がった選手と同点になってしまいました。一本勝負をすることになってしまいました。弓を片付けてしまっていた私は既に集中力も切れてしまい、トーナメントには行けませんでした。今後はこの経験を忘れずに、本当の最後の一本まで集中力を切らすことのないよう頑張りたいと思っています。

良い時も悪い時もありますが、「最後まで諦めない」という気持ちで、これからもゴルフに取り組んで行きたいと思っています。

ゴルフ部

経済学部 1年 佐藤 由香利

一年を振り返ってみると、日本女子アマチュア選手権やユネックスレディーズ、新潟



国体など、たくさんの大会に出て良い経験ができました。そして、たくさんの方々が応援していただき、嬉しく感じた一年でした。

大会では、気負いや緊張からなかなか思うようにゴルフが出来ない時があります。あれこれと考えすぎて体が思うように動かず、思い切りクラブを振れなかつたりします。そんな時は本当に苦しいと感じますが、投げ出す訳にはいかずとても辛いです。しかし「我慢に我慢を重ねてひとつひとつのプレーを丁寧にやっていたらそのうち……。」と言う気持ちを忘れずに戦っています。

新任教員紹介

青柳 勸さん(29)



平成21年10月から、経済学部助手として青柳勸さん(29)が着任しました。

青柳先生は、京都府立鳥羽高校から筑波大学へ進学。その後、日本人初プロ水球選手としてスペイン1部リーグ、イタリアセリエA、モンテネグロリーグで活躍。日本人で初めて欧州チャンピオンズリーグ出場も果たしました。18歳で日本代表に選出されて以来、全日本のエースとして活躍。「ワイルドシューター」の異名を持つ世界的名選手です。

青柳先生は以前から柏崎で産大水球部や高校生の強化に携わり、今回旧知の学長から要請を受け着任しました。今後は社会人クラブチームを立ち上げ、ジュニアから一貫した選手育成で地域の活性化に貢献したいと意欲満々。堂々たる体格で精悍な容貌。学生の人気も間違いなし。産大に強力な人材が加わりました。

(詳細は先生のホームページをご覧ください。)